

第27回火山噴火予知連絡会議事録

日 時：昭和58年2月8日(火)14時-17時20分

場 所：気象庁第1会議室

出席者：委員：下鶴，横山，高木，力武，行武，青木，久保寺，加茂，太田，小坂，板山*（科学庁），小松原，飯田*（文部省），小野，水野，佐藤，高橋，末広，山川，渡辺*（気象研），中島*（地磁気観）。

注）*印：委員の代理出席，（ ）内は所属。

オブザーバー：小宮（国土庁），平野（文部省），土肥（地理院），秋山，浜松，久本，内田（気象庁），田中（気象研），丸山（東京管区）。

庶務：竹山，吉留，永福，安藤，山本，宇平。

1. 第26回連絡会議事録(案)は，一部字句修正のうえ承認された。

2. 最近の火山活動

2.1 草津白根山

竹山（気象庁）：活動経過

中島委員代理：全磁力変化(V)

小坂委員：湯釜の火山ガス成分，水位変化等について

山川委員：草津白根山で行われる冬季国民体育大会スキー大会について

草津白根山の活動状況について（コメント）

「草津白根山の活動については，現在のところ主火孔の噴気など表面活動はおさまっており，周辺からの噴気も弱くなっている。しかし，昨年以來，火山周辺に発生している地震は，その後弱まってきてはいるが，現在もなお続いている。また，湯釜の湖面の低下は今なお続いており，このことは，湯釜の湖水が新火孔を通じて山体内に流入しているためと思われる，新たな水蒸気爆発の発生の原因になることも懸念される。これらのことから，ここ当分は火山活動の推移を注意する。」

2.2 桜 島

吉留（気象庁）：活動経過

加茂委員：①活動状況の特徴について

②第5回桜島火山の集中総合観測概要（地震活動，地盤変動，熱分布，重力，火山ガス，噴出物）について

（総合的にみて大規模活動に移行する兆候は認められない。）

中島委員代理：集中観測概要（地磁気）について

2.3 阿蘇山

吉留（気象庁）：活動経過

久保寺委員：火山性微動エネルギーの変化

- 太田委員：阿蘇火山における温泉観測
- 2.4 浅間山
吉留（気象庁）：活動経過
下鶴委員：地震発生状況，震源分布等について
- 2.5 有珠山
横山委員：①地震活動等について
②1977-1982年有珠山噴火の前駆現象について
太田委員：SO₂放出量について
- 2.6 樽前山
横山委員：樽前山の地震活動について
- 2.7 富士山
下鶴委員：富士山観測点における傾斜・地震観測結果
- 2.8 三宅島
下鶴委員：臨時地震観測結果
- 2.9 御嶽山
小坂委員：噴気孔ガス成分の変化等について
- 2.10 伊豆大島
竹山（気象庁）：①1982年12月～83年1月に発生した三宅島近海の地震について
②1983年1月に発生した伊豆半島東方沖の地震について
③埋込式体積歪計による伊豆大島の歪変化
行武委員：三原山火口を挟む測線による見かけ比抵抗の時間変化等について
下鶴委員：三原山火口内外の温度変化等について
水野委員：大島・三宅島の上下変動
小野委員：伊豆大島火山の地震探査
木村（琉球大）：火孔底変動からみた伊豆大島および三宅島の火山活動（事務局代読）
- 2.11 青ヶ島
下鶴委員：噴気地帯の温度測定について
- 2.12 硫黄島
高橋委員：1982年11月の火山活動について
- 2.13 南硫黄島周辺海底火山
佐藤委員：最近の活動等について
- 2.14 その他
土肥（地理院）：①火山基本図の概要（草津白根山，浅間山）
②1982年4月の噴火前後に撮影された空中写真から作成された地形図の比較による浅間山火口の地形変化
③1979年9月の噴火前後に作成された地形図の比較による阿蘇中岳第1火口の地形変化

3. 活火山要覧追録資料(案), 噴火災害資料(案)について

竹山(気象庁):御意見があれば事務局へお知らせくださるようお願いする。

4. 鈴木強議員の質問主意書について

山川委員:富士山大爆発説と東海大地震発生に関する質問主意書について

5. その他

(1) 群馬県草津町から本連絡会長への陳情について

(件名:草津白根山の観測体制整備と防災施設の設置について)

山川委員:代読

(2) 次回連絡会開催期日

火山学会春季大会(5月)の日程決定後,おはかりする。

(3) スライド映写

青ヶ島 下鶴委員提供

硫黄島 高橋委員提供

(4) 提出資料

① 火山基本図(1/5000)草津白根山, 浅間山 I, II……………地理院

(取りあえず15部用意したが,残りは3月末までに事務局を通しお届けできている
— 土肥氏)

② 昭和58年度火山噴火予知計画関係予算の概要……………気象庁

[17:00 - 17:40 記者会見 気象庁記者室]